

構築会兵庫支部 平成24年度総会・講演会の概要

平成24年度の総会・講演会は、昨年と同様、神戸国際会館を会場に37名が参集して7月初旬に開催、ご来賓として構築会の柴崎会長、社会基盤工学の鎌田先生、建築工学の横田先生がご出席くださいました。総会後の講演会は、年初の全国高校サッカー選手権大会でベスト8進出を果たし、新聞紙上で公立高校の星と謳われた西宮市立西宮高等学校から、サッカー部監督を務められる大路照彦教諭を講師にお迎えしました。

西宮高校は、兵庫県大会で前回選手権王者の滝川第二高校を破って兵庫県代表となりました。公立の学校が150を超える出場校の頂点に立つのは、練習環境や生徒獲得などの面から至難の業とされています。それが全国の舞台に立ち、2回戦(初戦は優勝県シード)で強豪・山梨学院を、3回戦では名門・近大付属を倒し、全国ベスト8まで駒を進めました。そして「勝てば国立」という準々決勝の対大分戦で涙を飲みますが、この強さの秘訣はどこにあるのでしょうか。

魅力あるチームづくりのため、強豪校との差別化を図る市西(いちにし:西宮市立西宮高校の地元での呼称)のサッカーの確立とブランド力をアップ。時間の有効利用や文武両道をモットーに、進学校として親からも子からも望まれる学校づくりなどはその一例とのことで、大路氏ご自身も英語教育や学年主任として勝負されました。日常の部活動はメニューを厳選のうえ2時間程度に限定してサッカースタイルもブランド化、部の目標に国公立大学現役合格を掲げて、練習後に塾へ通う生徒も多いそうです。

また、部員が市内の小中学校を卒業した「宮っ子」たちで、西宮少年サッカースクール出身者も多く、こうした連帯感によるチームワークも強さを支えます。DVDを交えての講演は迫力があり、大路氏の情熱が私たちにも存分に伝わってきました。指導者の役割は、子どもたちが夢をみれる環境をつくることであり、努力が奇跡を生むこと、奇跡を自分の手で手繰り寄せるために、日々努力を惜しまないことを伝えていくことの大切さを力説されました。

懇親会では、来賓の先生方から教室の近況報告をいただいた後も、講演の話題で盛り上がりました。講演時の「生徒たちはこれから‘もう一つの国立をめざす’」とのDVDナレーションも印象に残ります。何事につけても、夢を持ち続け、その夢を実現するための日々の努力を惜しまない姿勢が大切なことをあらためて教わった気分、私たちも大いに元気をいただくことができました。

